

将来

展望に 議論集中

三月定例会は、平成十六年度旧四町村各会計決算認定、平成十七年度当初予算審議が同時上程となったため、過去に経験の無い、長期間休み無しの定例会となりました。

一般会計の予算総額は一〇七億円と、平成十六年度旧四町村の予算総額一三五億円より二十七億円の減となり、厳しい予算編成となります。

歳入では、合併交付金、合併補助金の前倒し計上、財政調整基金・地域福祉基金の取崩しなどで財源不足を確保されており、歳出では、縮減・見送りの事業を含め義務的経費（一・二・三％減）・投資的経費（四九・四％減）ともに圧縮した予算となっております。

財政改革、長期建設計画、ふれあい事業など本町の将来展望に関する予算に議論が集中しました。

財政的に非常に厳しい中ですが、議会は住民の皆様とともに知恵を出し合っ



研鑽し、輝く神石高原町を目指して、議会としての機能を果たしていきたいと思っております。

一般質問では十五名の議員、予算質問では十七名の議員が、行政の課題をたてました。

賛成討論（要旨）

村上 克朗議員

神石高原町は牧野丸の初めで、当初予算で一般会計において一〇七億円の予算である。

歳入不足に対しては、全課一丸になって歳出を抑え「住民サービス」の低下を最小限に留められ、合併初年度から予算編成に苦慮されている。

行財政改革に積極的に取り組み、経常経費の削減・事務事業の効率化と定員適正化計画による、退職や人件費の抑制に努め機構改革の見直しを実施されようとしています。

各議員から出された意見・質問を尊重し新町の財政基盤や行政基盤を盤石にし、町民の福祉の向上と町政発展のために努力されるよう切望して、予算案に賛成します。

福山地区消防組合議会議員に、
小川 清治議員



小川 清治議員

教育委員、
佐竹秀朗氏の
任命に同意

川崎教育長が三月三十一日付で辞表を提出され、後任の教育委員会委員に、福祉保健課長佐竹秀朗氏の任命に同意しました。

新教育長に

佐竹秀朗氏
(五十三歳)

四月一日に教育委員会が開かれ、教育長に佐竹秀朗氏（小色）が選任されました。



佐竹 秀朗氏